



地図で見つけた 私が知らない私の街



大都會の横浜も
江戸時代の終わりが
までは街道を外れた
ひなびた村だった



「へえ～そうなんだ」
「なるほどそういうことか」が いっぱい



山手線は大正時代に
ひらがなの「の」の字を
描くように走っていたよ
上野と東京はつながって
いなかったんだね



1919年
～1925年

印旛沼のまわりは
干拓がずいぶん
進んでいるね



2014. 7.15(火)～8.31(日)

<開館時間・休館日>

開館時間 9:30～16:30

開催期間中の休館日 毎週月曜日

(ただし月曜日が祝日のときは翌火曜日)

<会場>

地図と測量の科学館

(つくば市北郷1番 国土地理院構内)

お問い合わせ：電話 029-864-1872



入場無料

赤松宗旦「利根川図志」より

第一巻掲載

「利根川全図」を展示(拡大複製)

茨城県利根町歴史民俗資料館提供



国土交通省国土地理院

地図で見つけた 私が知らない私の街

のご案内

私たちは「土地」の上で生活しています。その土地は、大昔から人々が住んでいるところばかりではなく、海や湖を埋め立てしたり、山や丘を削って平らにしたり、森や林を切り開いてつくった新しい土地もあります。新しく生まれた土地は、田んぼや畑に使われたり、道路や鉄道がつくられて開発が進み、住宅や工場が建って街ができています。一方、昔は人々が住んでいたのに産業や環境の変化で、そこに暮らしていた人たちが離れていってしまったところもあります。

このように、私たちのまわりの土地の様子はどんどん変化しています。昔の地図や写真を手に入れて今と比べてみると、何が違って何が変わらなかったのか、どこが変わってどこが変わらなかったのかが良くわかります。大きく変わったところと、あまり変わらなかったところの違いを比べて、その理由をいろいろ考えてみるのもおもしろいです。そこから未来を想像してみるのも楽しいでしょう。

この企画展では、みなさんの身近な土地の変化を、昔と今の地図や写真で比べていろいろ紹介していますので、学習・自由研究の課題のヒントにもなるでしょう。企画展をつうじて、地図に興味を持ってもらうとともに、郷土への理解をいっそう深めてもらえれば良いと考えています。

<おもな展示の内容>

※今回の展示では、おもに関東地方を中心に題材を見つけて展示しています

■首都圏の原風景

- ・100年前の関東平野 - 水のながれと人々の往来 -
- ※明治期に作られた地形図と現在の地図 から比較
- ・「利根川全図」・・・「利根川図志」第一巻掲載
- ※表示された江戸時代の地名(集落名)と現在の比較

■「国」と市町村の移り変わり

- ・奈良時代に起源をもつ律令制の「国」は今でも身近に
- ・明治維新の廃藩置県前の「国」
- ・日常生活の中に生きる「国名由来」の地名や産物
- ・市・町・村の変遷・・・廃藩置県→明治の大合併→昭和の大合併→平成の大合併 : 土浦市
- ・「東京市」35区時代から23区へ

■大きな変貌を遂げた地域

- ・東海道から外れた海辺の小さな村から大都会へ・・・横浜
- ・人気のレジャー施設がある浦安も、オリンピック開催で注目の豊洲エリアも少し前までは海の中・・・東京湾沿岸部の大規模埋め立て
- ・台地を削って谷を埋めてニュータウン・・・千葉
- ・松林を切り開いて学園都市建設・・・つくば
- ・半農半漁の村が大企業の「城下町」に・・・日立
- ・門前町から交通の要衝、さらに官庁移転へ・・・大宮
- ・砂丘を掘って港が誕生・・・鹿島港
- ・山手線環状運転へ最後の開通区間・・・秋葉原
- ・浄水場の跡地に高層ビルが立ち並ぶ街・・・新宿
- ・日本の空の玄関・・・羽田飛行場から東京国際空港へ

- ・大都市の中を堂々と流れる放水路・・・荒川
- ・谷津田から沖積平野の水田へ・・・印旛沼周辺
- ・台地上の農村地帯に名馬が集結・・・美浦トレセン
- ・消えた湖沼群・・・茨城県境町から坂東市一帯

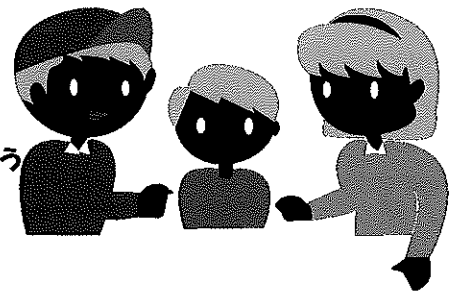
■時代とともに移り変わる風景

- ・かつてのにぎわいはどこへ・・・下妻市宗道河岸
- ・高速道路は国道・幹線鉄道を離れて旧街道沿いに・・・中央道上野原付近
- ・科学万博の会場跡地は工業団地・・・つくば
- ・米軍に接収された射爆場跡は今海浜公園や港湾施設・・・ひたちなか地区
- ・広大な貨物ヤード跡に大規模ショッピングモール・・・埼玉・三郷

■昔ながらの街並みや風景が今に残る

- ・城下町(土浦)、門前町(成田)、宿場町(取手)
- ・水運で栄えた町と水郷地帯・・・佐原、潮来
- ・東京に最も近い棚田の美田・・・大山千枚田(千葉・鴨川)

「へえ～そうなんだ」「なるほどそうか」をたくさんさがしてみよう



<あまり目にする機会のない貴重な地図等> ※いずれも「複製」を展示

- 国土地理院所蔵・・・「伊能大図」(横浜付近)、「御開港横浜大絵図」、陸軍模写「行基図」、「迅速測図原因」(各地)
- 茨城県利根町歴史民俗資料館所蔵・・・「利根川図志」より第一巻掲載「利根川全図」 など



浦安周辺の今むかし

(1947年 米軍撮影)

赤松宗旦と利根川図志

「赤松宗旦(1806-1862)」は、江戸時代の医師。布川(現在の茨城県利根町)で開業医を営む一方、利根川流域の地形や人々の生活のようすなどを詳細に調査して、安政5年(1858年)、利根川の百科事典ともいえる「利根川図志」を出版しました。